

第二十六條 職工が勤中或は其の勤ハ其種類ニ依リ第二十三條ノ月
額ハ第二十三條ノ全額ヲ得與ス

第二十五條 職工十五半以上ノ各半額十五半以上ニ至ル程度ノ月
額

同 十半、十半、十半、十半

同 五半、十半、十半、十半

同 五半以上十五半未満 月額ハ十半

又サノ日付ハ都合ニ依リ縮短セラルルイキハ式ノ月當金ヲ得與ス

第二十四條 職工十五半以上十五半未満ノ職工ニモテ常服ノ意旨ニ

イ、同三十一半、三十六半、(イ) 五日付、

イ、同二十六半、三十一半、(ハ) 四日付、

ハ、同二十一半、二十六半、(ホ) 三日付、

ホ、同十一半、二十一半、(ニ) 五日付、

ニ、同 一 半以上十 一 半未満(ハ)ニマ(日)ニ廿一日半付取

當ヲ給與ス

但シ遺族ハ工場法規定ノ順職位ニヨル

第二十七條 本人平素ノ勤務状態ニヨリテハ手當金額ノ増減ヲナス

コトアルベシ

第二十八條 本規定第七條ニ依リテ解雇セララル、場合其他工場規

ニ違反シ服務規定ヲ破リ懲戒處分ヲ受ケタル者ニハ手當ヲ給與セ

ズ

第二十九條 女子ニ對シテハ本規定ノ二分ノ一ヲ給與スルモノトス

第五章 積立金

第三十條 職工ハ賃銀受取ノ際左記ノ割合ヲ以テ積立金ヲ為スベシ

但シ本人ノ希望ニ依リ規定額以上ヲ積立ツル事ヲ得

日給八十錢未満 月額 四拾錢

、 壹圓、 六拾錢

、 壹圓二十錢、 八拾錢